

ITER 機構職員募集動向とインターンシップ募集



インターン生を囲んで(2019年)

は 1050 名ですが、そのうち日本人職員 限を越えた 120 名の増員が承認されま は38名(専門職員34名、支援職員4名) した。この増員に伴う新規採用のピーク です。職員の上限は1050名となってい は2023年までで、それ以降の職員公募

2022 年 8 月末時点の ITER 機構職員 ますが、昨年 6 月の ITER 理事会にて上

は、退職に伴う空きポストの補充、建設から運転への移 行に伴う人員再配置による公募など、少数になると予 想されます。量研では、応募書類のアドバイス、添削や 書類選考を通過した応募者には、面接試験のトレーニ ングを行っています。

さらに、オンライン説明会を開催し、ITER機構職員に より、応募動機、業務内容(やりがい、業務ポイント、一 日の流れ)、英語での業務などについて説明していま す。今後も ITER 機構職員に実際の ITER 機構での業務 の説明などを計画していますので、是非ご参加くださ

日本からは 2018 年に 5 名、2019 年に 6 名、2020 年 に2名、さらに、2022年には4名のインターンが

ITER 機構職員として活動しました。 量研ではインターンの公募支援を 行っていますので、問い合わせて下さい。

ITER 職員募集オンラインセミナーを開催しました 2023.2.20



図1 ITER 職員募集オンラインセミナーの様子

昨年 10 月にバラバスキ機構長が就任して 以降、ITER機構では職員のダイバーシティ ネージメントオフィサーの前田佳子氏 を重視、男女間の職員数の割合、ITER参 加極

ようになってきています。

ITER 機構邦人職員も、39 名のうち女性は 5名と、女性の割合は13%と低い状況で す(2023年1月末現在)。量研ではこれ を受けて、ITER 機構で活躍している女性

システムセクション、コントラクトマ と、コーポレートドメイン 人事サービ スセクション HR パートナーの藤野さや 間の職員数の不均衡の是正を強く意識する か氏の2名に登壇していただき、応募動 機、業務内容、生活面など、女性の視点 から説明していただいた。また、量研か らは、元 ITER 機構職員の花光圭子氏が、 応募・選考プロセスに関して自らの経験 に基づいて説明しました(図2)。

25 名の参加者からは、セミナー中に多 職員から、建設ドメイン トカマク冷却水 くの質問が寄せられるとともに、応募の

意欲が高まったなど高い評価をいただきました。 オンラインセミナーには日本国内に限らずアメ リカやイギリスからも参加がありました。また、 セミナー後に、ITER 機構職員に応募する日本人 の方の支援を目的とする ITER 機構職員公募会員 登録の問い合わせがあり会員登録いただく方も いらっしゃいました。

今後もこのようなセミナーを通じて、応募者の サポートを行い、ITER 機構邦人職員の獲得に努 めてまいります。



図 2 元 ITER 機構職員の花光圭子氏



ITER 機構職員応募 ガイドブック無料公開中!



